

## 歳出決算額

**165億6,286万1千円**  
(前年度比 12億2,341万5千円増)

市民の皆さん1人当りに使われたお金は30万1,933円です。  
(平成22年3月末 住民基本台帳人口54,856人)

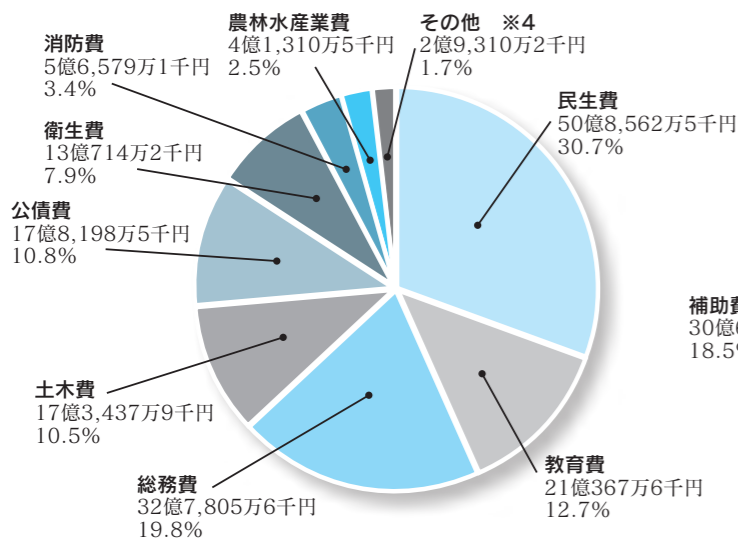


## 一般会計決算の状況

決算収支の状況は、歳入総額172億2,566万3千円、歳出総額は165億6,286万1千円となりました。

歳入から歳出を差し引いた6億6,280万2千円から、翌年度へ繰り越す事業の財源6,859万円を差し引いたものが実質収支額となります。平成21年度の実質収支額は5億9,421万2千円(前年度比4億8,075万4千円・44.7%減)の黒字となりました。このうち3億円を財政調整基金に積み立てます。

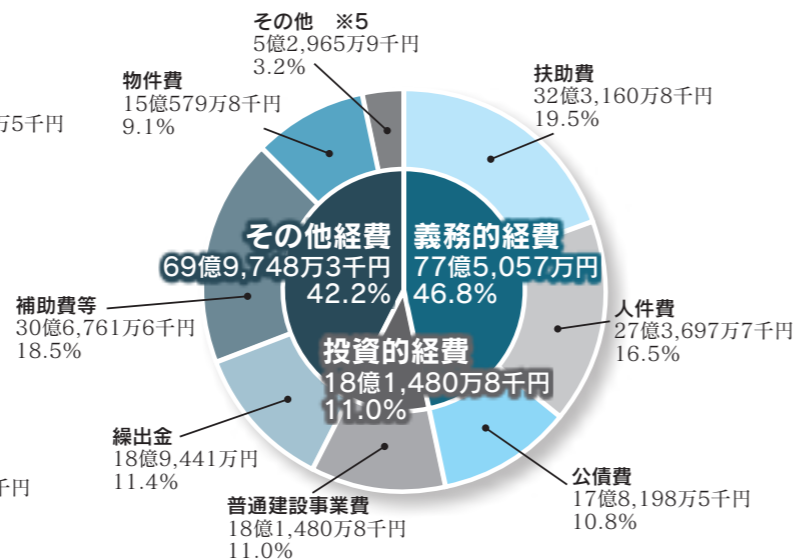
### 目的別内訳



※4 その他の内訳(歳出総額を100%とした場合)

- 議会費 1億8,117万6千円(1.1%)
- 商工費 1億611万4千円(0.6%)
- 労働費 581万2千円(0.03%)

### 性質別内訳



※5 その他の内訳(歳出総額を100%とした場合)

- 積立金 3億9,303万5千円(2.4%)
- 維持補修費 1億2,495万6千円(0.8%)
- 投資及び出資金・貸付金 1,166万8千円(0.1%)

## 特別会計・企業会計の決算

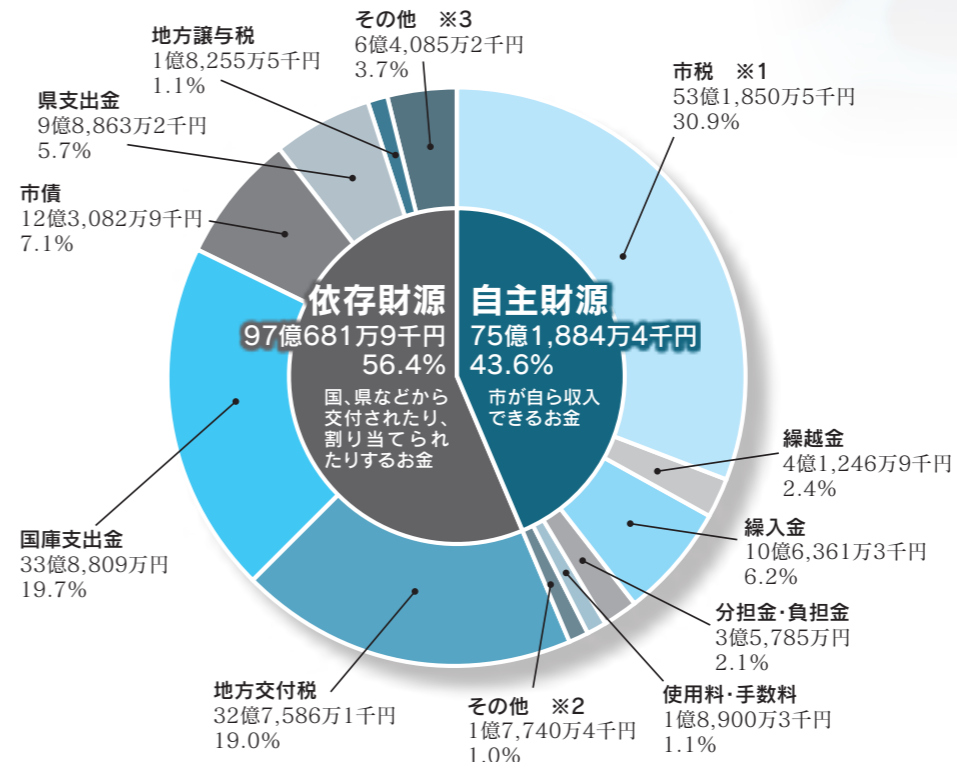
『特別会計』とは、保険料など税金以外の特定の収入がある会計をいいます。

『公営企業会計』とは、一般の会社のように独自の収入で経費をまかなう会計をいいます。

特別会計	歳入(A)	歳出(B)	翌年度へ繰り越すべき財源(C)	実質収支(A)-(B)-(C)
国民健康保険特別会計	53億1,822万6,486円	51億1,105万9,993円		2億716万6,493円
老人保健特別会計	3,216万5,332円	524万9,313円		2,691万6,019円
後期高齢者医療特別会計	4億1,869万4,911円	4億1,174万3,754円		695万1,157円
介護保険特別会計	29億6,981万9,089円	29億1,689万134円		5,292万8,955円
下水道特別会計	18億6,352万3,296円	17億9,895万6,168円	700万円	5,756万7,128円
農業集落排水特別会計	8,695万2,321円	8,409万6,220円		285万6,101円
公営企業会計	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出
水道事業会計	7億3,424万7,419円	5億3,488万2,178円	6,788万6,545円	3億101万8,228円
工業用水道事業会計	4,242万5,835円	4,243万755円	69万1,740円	69万1,740円

## 歳入決算額

**172億2,566万3千円**  
(前年度比 7億7,374万8千円増)



### ※1 市税の内訳(市税総額を100%とした場合)

- 市民税 25億8,259万3千円(48.5%)
- 固定資産税 23億9,187万3千円(45.0%)
- たばこ税 2億4,350万3千円(4.6%)
- 軽自動車税 1億53万6千円(1.9%)

### ※2 その他(自主財源)の内訳(歳入総額を100%とした場合)

- 諸収入 1億4,920万4千円(0.8%)
- 財産収入 2,492万9千円(0.1%)
- 寄附金 327万1千円(0.02%)

### ※3 その他(依存財源)の内訳(歳入総額を100%とした場合)

- 地方消費税交付金 4億5,354万5千円(2.6%)
- 地方特例交付金 9,067万円(0.5%)
- 自動車取得税交付金 3,847万4千円(0.2%)
- 利子割交付金 2,199万7千円(0.1%)
- 交通安全対策特別交付金 1,030万6千円(0.1%)
- 国有提供施設等  
所在市町村助成交付金 882万3千円(0.1%)
- ゴルフ場利用税交付金 955万9千円(0.1%)
- 配当割交付金 517万2千円(0.03%)
- 株式譲渡所得割交付金 230万6千円(0.01%)

# 平成21年度 決算 報告

市民の皆さん1人当りが納めた市税は9万6,954円です。  
(平成22年3月末 住民基本台帳人口54,856人)



21年度の決算が、9月市議会定例会で審議・認定されました。皆さんから納めていただいた税金や、国・県からの補助金などがどのように使われたかお知らせします。

一般会計の決算は、地方税が大幅に減少するなどマイナス要因はありましたが、普通交付税や国庫支出金が増加するなど、収支は黒字となりました。歳出については、扶助費などの義務的経費と定額給付金に伴い、補助費等が伸び投資的経費が減少しています。市の借金を指す市債は、前年度に比べ発行額を抑え繰上償還を行ない残高も減少しています。貯金を指す基金は、黒字となった分を適時積み立てたことで増加となっています。

※この資料は平成21年度地方財政状況調査(決算統計)によるもので、後期高齢者医療広域連合にかかる経費を控除しています。なお、表示単位を四捨五入したもので、合計額と合致しない場合があります。

問い合わせ先 財政課(合志庁舎) ☎248-1667